

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成 17 年 7 月 14 日 (2005.7.14)

【公開番号】特開 2003-155164 (P2003-155164A)
 【公開日】平成 15 年 5 月 27 日 (2003.5.27)
 【出願番号】特願 2001-352624 (P2001-352624)
 【国際特許分類第 7 版】

B 6 5 H 54/02

D 0 2 J 1/00

【F I】

B 6 5 H 54/02 D

D 0 2 J 1/00 X

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 11 月 19 日 (2004.11.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】アクリル系フィラメント糸条パッケージの製造方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アクリル系フィラメント糸条をコアボビンに巻取りパッケージを得るに当たり、糸条の巻始めから巻終わりにかけて巻取り張力を暫減させると共に、巻取り張力の減少に対応して低下するエア圧で糸条にエア交絡処理を施し、巻始めから巻終わりまでの糸条に交絡度が 10 ~ 25 ケ / m の範囲で、交絡度の差が 10 ケ / m 未満の交絡を付与することを特徴とするアクリル系フィラメント糸条パッケージの製造方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明は、アクリル系フィラメント糸条をコアボビンに巻取りパッケージを得るに当たり、糸条の巻始めから巻終わりにかけて巻取り張力を暫減させると共に、巻取り張力の減少に対応して低下するエア圧で糸条にエア交絡処理を施し、巻始めから巻終わりまでの糸条に交絡度が 10 ~ 25 ケ / m の範囲で、交絡度の差が 10 ケ / m 未満の交絡を付与することを特徴とするアクリル系フィラメント糸条パッケージの製造方法、にある。